

SeeSnake® CS6



警告!

本機を使用する前に取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書の内容を理解せずに使用すると、感電や火災、大けがを負う場合があります。

紹介ビデオは、www.youtube.com/seesnakeでご覧になれます。

SeeSnake® CS6

シリアル番号

目次

序章	
規制に関する声明	4
安全に関する注意	4
一般安全ルール	
作業エリアの安全性	5
電気の安全性	5
作業者の安全に関する注意	5
機器の使用とお手入れに関する注意	6
バッテリーの使用と取扱い	6
作業前の点検	
機器の安全に関する注意事項	
シースネークCS6に関する安全事項	7
製品の概要	
説明	8
仕様	9
標準機器	9
システムコンポーネント	9
キーパッドの概要	11
操作方法	
配置	13
カメラリールへの接続	13
CS6を電源に接続する	14
内蔵カウンター	15
検査の概要	
メディアの録画	16
インターフェイスアイコン	16
カスタムテロップ	18
ゾンデを探知する	20
プッシュケーブルをライン探知	21
ジョブレビュー	22
ジョブを管理する	
ジョブリスト	25
USBオプション	26
ジョブ設定	27
システム設定	
テロップ詳細	28
システム設定の復元	28
レポートの送付	28

ソフトウェア

HQソフトウェア	29
CS6ソフトウェアのアップデートに関して	30

メンテナンスとサポート

クリーニング作業に関する注意事項	31
付属品.....	31
機器の運搬と保管	31
点検と修理	32
廃棄	32
バッテリー廃棄.....	32
トラブルシューティング	33

序章

本取扱説明書に記載されている警告、注意、指示事項に、起こりうるすべての条件・状態が含まれているわけではありません。本機器を使用するにあたって、作業者自身が良識や注意といった要因を考慮する必要があります。

規制に関する声明

CE EC適合宣言書 (890-011-320.10) は、必要に応じて本取扱説明書に添付されます。

FCC この機器はFCC規制の第15章に準拠しています。操作は下記の2つが条件となっています：(1) 操作によって有害な電波障害を引き起こさないこと。(2) 本装置は、誤動作を引き起こしうる干渉を含め、いかなる受信障害も許容しなければならないこと。

安全に関する注意

本取扱説明書と製品本体において、安全に関する重要な内容を知らせるために記号や表示が使用されています。ここでは、これらの記号や表示をより良くご理解いただけるように記載しています。



この記号は、安全に関する警告記号です。怪我を負う危険があることを警告しています。怪我や死亡につながる危険を避けるため、この記号が記載された文章に従ってください。

⚠ 危険

この表示は、危険を示します。記載内容を見落とすと、死亡または大けがを負うことがあります。

⚠ 警告

この表示は、警告を示します。記載内容を見落とすと、死亡または大けがを負う可能性があります。

⚠ 注意

この表示は、注意を示します。記載内容を見落とすと、軽度または中度の怪我を負う可能性があります。

注記

この表示は、ものの保護に関する事項が記載されていることを示します。



このマークは機器を使用する前に取扱説明書をよくお読みくださいという意味を示しています。取扱説明書には機器を操作する上で、安全および適切な使用方法に関する事項が記載されています。



このマークは、機器の持ち運びや使用において、側面がカバーされている安全メガネ、またはゴーグルを使用すると、目の怪我につながるリスクを少なくすることができるという意味を示しています。



このマークは感電によるリスクを示しています。

一般安全ルール

⚠ 警告



安全に関する警告と説明を全てお読みください。警告や指示を守らない場合、感電、火災、大けがに至ることがあります。

この指示を保存してください!

作業エリアの安全性

- 作業場所は常に清潔で明るくしてください。物が散乱していたり、暗い場所での作業は事故につながります。
- 可燃性の液体や気体、粉塵などで爆発の危険がある環境で機器を使用しないでください。機器の使用で火花が発生して、ガスや粉塵に引火する場合があります。
- 機器の使用中は、子供や部外者を近寄らせないでください。注意散漫になると、機械の操作を誤ることがあります。
- 交通を避けてください。道路上あるいは道路脇で作業するときは、通行中の車に注意してください。工事用安全作業服あるいは反射ベストを着用してください。

電気の安全性

- パイプ、ラジエーター、コンロ、冷蔵庫などの接地表面と身体が接触しないようにしてください。身体が接地すると感電する危険が高まります。
- 機器を雨にさらしたり、濡らしたりしないでください。機器内部に水が入り込むと、感電する危険が高まります。
- 各電気接続部分は乾燥した状態にし、地面から離してください。濡れた手で機器やプラグに触れないでください。濡れた手で機器やプラグを触ると感電のリスクが高まる場合があります。
- コードは丁寧に扱ってください。コードを引っ張って機器を移動したり、電源を切ったりしないでください。熱や油、鋭い刃、作動中の部品の近くにコードを近づけないでください。コードが損傷していたり、ねじれていたりすると、感電のリスクが高まります。
- 湿度の高い場所での機器使用が避けられない場合は、漏電遮断器 (GFCI) で保護された電源を使用してください。GFCIを使用すると、感電の危険を減らすことができます。

作業者の安全に関する注意

- 常に作業に集中し、常識的な判断力をもって機器を操作してください。疲労や薬物やアルコールや医薬品の影響を受けた状態で機器を操作しないでください。操作中に注意を怠ると、重傷を負う原因になります。
- 適切な衣服を着用してください。緩めの衣服、またはアクセサリーの着用はおやめください。緩めの衣服、アクセサリー、長い髪は作動中の部品に巻き込まれることがあります。
- 衛生状態を良好に保ってください。排水管検査機の使用後は、管内の内容物に触れた手や身体各部は、熱いせっけん水で洗浄してください。内容物は毒性や感染性がある場合があります。汚染防止のため、検査器取扱中の食事や喫煙は控えてください。
- 排水管内での機器操作は、必ず正しい防護具を使用して行ってください。配水管は化学物質やバクテリア、その他有害物質などの感染症を引き起こす物質を含んでいる場合があり、火傷やその他の怪我や病気につながる恐れがあります。身体保護用品には以下のものがあります。安全メガネ、防じんマスク、ヘルメット、排水清掃用グローブあるいは手袋、ラテックスあるいはゴム手袋、保護面、ゴーグル、安全作業服、防毒マスク、つま先に鉄の入った安全靴など。
- 排水管洗浄装置及び排水管検査機を同時に使用する際は、RIDGIDの排水管洗浄手袋を着用してください。清掃ケーブルにからまったり、手をけがする原因となりますので、専用グローブ以外の手袋や布切れなどで回転しているケーブルをつかまないでください。RIDGID排水清掃機用の専用グローブの下には、ラテックスあるいはゴム手袋を着用してください。また、損傷のある排水管洗浄手袋は使用しないでください。

機器の使用とお手入れに関する注意

- 機器に無理な力をかけないでください。必ず用途に合った機器を使用してください。作業をより良く安全にするために、用途に合った機器を使用してください。
- 電源スイッチでオン／オフの切り替えができない状態の機器を使用しないでください。電源スイッチ制御ができない機器は危険です。必ず修理を行ってください。
- 調整作業や付属品の交換、また機器を保管する場合は、電源プラグやバッテリーパックを外してください。このような予防措置を講じることで、怪我をする危険を軽減することができます。
- 使用中ではない機器は子供の手の届かない場所に保管し、機器の取扱いに詳しくない人に操作をさせないでください。取扱い方法を知らずに機器を操作すると危険です。
- 機器の保守点検を実施してください。可動部品が位置ずれていたり、動かなくなっていないか、なくなっていたり、損傷のある部品はないかなど、機器操作に影響する恐れのある状態がないか確認してください。損傷が見つかった場合は、必ず修理してから機器を使用してください。事故の多くは、しっかり保守点検が行われていない機器を使用したことが原因で発生します。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。作業は常に足元を安定させ、バランスを保ちながら行ってください。バランスのよい姿勢で操作すると、予期しない状況においても機器をうまく制御できます。
- 機器や付属品は、作業の条件や内容を考慮し、また本取扱説明書の指示に従って使用してください。用途以外の目的に機器を使用すると危険です。
- 付属品は機器メーカーが推奨するものだけを使用してください。付属品の用途はそれぞれ異なります。機器に適合した付属品を選んでください。
- 取っ手部分は乾燥した、清潔な状態に保ち、油分が付かないようにしてください。取っ手部分を清潔にすることで機器の操作がより良くなります。

バッテリーの使用と取扱い

- 機器を使用する際は、指定のバッテリーパックのみを使用してください。他のバッテリーパックを使用すると怪我や火災につながる危険性があります。
- 製造者が指定する充電器のみを使用してください。特定の電池用の充電器を別のバッテリーパックに使用すると火災の危険性があります。
- 充電器の使用中はカバーをしないでください。正しく作動するには、適度な換気が必要です。使用中に充電器をカバーすると、火事につながる危険性があります。
- バッテリーや充電器は、使用書に基づいて湿気のない適温の場所で使用、保管してください。高温または低温、湿気のある場所でバッテリーを使用、保管すると、液漏れや感電、火傷につながる危険性があります。
- 伝導性のある物を使ってバッテリーの精査を行わないでください。バッテリー端末装置がショートすると、火花、火傷、感電の原因となります。バッテリーパックを使用していないときは、クリップ、小銭、鍵、釘、ネジ、端末装置同士をつなげることができるその他の金属に近づけないようにしてください。バッテリー端末装置がショートすると、火傷や火事につながる恐れがあります。
- バッテリーを乱暴に扱ったり、液体が漏れる可能性があります。その場合は液体に触れないようにしてください。万が一液体に触れた場合は、水でよく洗い流してください。液体が目に入ってしまった場合は、早急に医師に相談してください。バッテリーからの液体は、肌を刺激したり火傷の原因となります。
- バッテリーは正しい方法で廃棄してください。バッテリーは高温にさらされると破裂の原因になります。廃棄の際には燃やさないでください。バッテリーの廃棄については、国の規制に従ってください。適用される規制にはすべて従ってください。

作業前の点検

⚠ 警告



感電やその他の原因による大けがのリスクを軽減し、機器の損傷を防ぐために、使用前に毎回全ての機器を点検し、問題を修復してください。

全ての機器を点検するために、以下の手順に従ってください：

1. 機器の電源をオフにください。
2. 全てのコード、ケーブル、コネクタを抜いて、損傷あるいは変化がないか確認してください。
3. 付着している汚れ、油分、その他の不純物をきれいにすることで、点検しやすく、持ち運びや使用する際に手のすべりを防ぎます。
4. 機器を点検して、安全・正常な操作に支障をきたすような故障、破損、欠如、位置ずれ、作業不能箇所その他異常がみられる状態がないか確認してください。
5. 取扱説明書に従って、全ての機器が良好に使用できる状態であるか点検してください。
6. 下記に関して作業場所を確認してください。
 - ・ 十分な明るさがあること。
 - ・ 引火性の液体、蒸気、または埃があると発火の恐れがあります。もしあれば、取り除くまでその場所で作業しないでください。機器に耐爆性はありません。電気の接続により火花を発生させることがあります。
 - ・ 水気や障害物がない平らな場所で使用してください。水中に立った状態で本機を操作しないでください。
7. 作業をするのに何が必要かを確認して、必要な器材を決定してください。
8. 作業場所を確認し、必要であれば通行人を遮るための柵を設置してください。

機器の安全に関する注意事項

⚠ 警告



本章は、シースネークCS6に関する重要な安全事項について記載されています。感電、火災、その他の大けがにつながるリスクを軽減するために、CS6をご使用前にこれらの予防策を注意深くお読みください。

警告事項が載っている全書類や取扱説明書は必ず保管してください！

シースネークCS6に関する安全事項

- ・ 本取扱説明書、カメラリール、および他の機器の説明書をご使用前によく読み理解してください。指示に従わない場合、機器の損傷や大けがにつながる恐れがあります。作業者が参照できるように、取扱説明書は本機と一緒に保管してください。
- ・ 水の中での機器の操作は感電のリスクを高めます。作業者あるいは機器が水の中にある状態でCS6を操作しないでください。
- ・ CS6のバッテリーおよび電気機器・接合部分は防水仕様されていません。機器が濡れてしまうような場所に起きっぱなしにしないでください。
- ・ CS6は、高電圧に対する保護や絶縁に対応するようには設計されていません。高電圧が存在する環境で機器を使用しないでください。
- ・ CS6には、互換性のあるバッテリーあるいは二重絶縁構造のACアダプターのみを電源としてください。ACアダプターは、屋内用のみをお使いください。バッテリーを使用する場合は、CS6を風雨にさらさないでください。
- ・ CS6に機械的衝撃を与えないでください。機械的な衝撃を与えることで、機器が損傷したり大けがのリスクが高くなります。

製品の概要

説明

シースネークCS6は、普通にモニターとしてあるいは、USBメモリーを挿入することでレポート作成を可能にしたアドバンス検査に対応できる小型で、持ち運びに優れたデジタル録画モニターです。



CS6を使って、自動的に作成した専門的検査レポートをUSBメモリーに入れて顧客に送付することが可能です。CS6がこのような性能を持ち合わせていることで、メディアを読み込ませたり編集したりというステップを踏まずに、優れたレポートを送付することができます。



CS6がシースネークカメラリールに接続されているときは、持ち運びや保管しやすいようにシースネークMAX rM200にちょうど良く収まるようになっています。CS6は、シースネークMAX rM200診断システムを完備しているシースネークMAX rM200に取り付けるように設計されています。シースネークMAX診断システム一式には、運搬ケース、カメラとプッシュケーブル付きドラム、デジタル録画モニターが含まれています。



HQは、作業管理、メディア、作業情報、顧客に対するレポート作成を整理することのできるソフトウェアです。

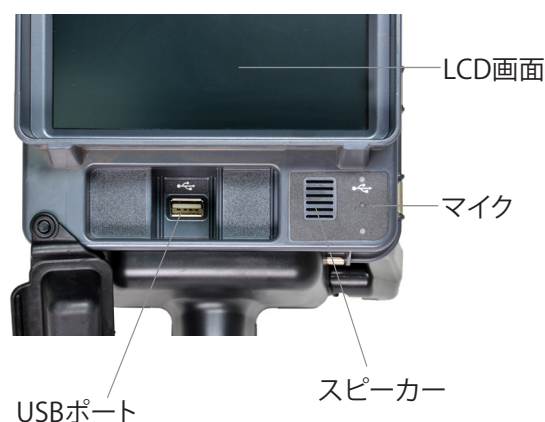
HQがインストールされている8GBのUSBメモリーが付属品としてついてきます。USBメモリーをコンピューターに接続すればHQを自動的にインストールし、CS6を登録します。付属品ディスクからHQをインストールあるいは、www.hq.seesnake.comからダウンロードすることもできます。

仕様	
重量	1.6kg
寸法	
長さ	62mm
幅	165mm
高さ	128mm
電源	18Vリチウムイオン電池 あるいはACアダプター (オプション)
電源レート	16-25VDC、25W
表示	
タイプ	液晶ディスプレイ
サイズ	115mm × 86mm
解像度	VGA 640 × 480ピクセル
輝度	500 Cd/m2
メディア	
ビデオ	MPEG4 (H.264) 30 FPS
自動ログビデオ	MPEG4 (H.264) ファイルサイズ縮小に調 節可能な低フレームレ ート
写真	JPG
音声	マイク、スピーカー内蔵
転送方法	USBメモリー
操作環境	
温度	0℃ ～ 40℃
保管温度	-10℃ ～ 70℃
相対湿度	5 ～ 95%
高度	4,000m

標準機器

- ・ シースネークCS6
- ・ ドッキングハンドル
- ・ 8GB USBメモリー
(プリインストールされているHQを含む)
- ・ 取扱説明書
- ・ 製品ビデオ
- ・ HQインストールディスク

システムコンポーネント





フロントカバーとキックスタンド

フロントカバーが開いた状態のときはグレアを少なくし、閉じた状態のときはLCD画面を保護します。移動の際は、画面保護のためフロントカバーを閉じておいてください。

より見やすく、安定するよう画面の角度を調整するためにキックスタンドを使ってください。運搬時にはキックスタンドをはね上げてください。

USBポートカバー

検査や移動の際は、USBメモリーとUSBポートを保護するためにUSBポートカバーを閉めてください。

注記：USBポートカバーを閉めるにはUSBメモリーの長さは50mmが最長です。

ドッキングハンドル

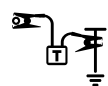
CS6はシースネークMAX rM200に取り付けるように設計されていますし、シースネークマイクロリール、マイクロドレイン、nanoリールのドックに収まるようにもなっています。ドッキングハンドルはrM200の標準備品ですが、他のリールと一緒に使用するための付属品として購入することもできます。

ドッキングハンドルのマジックテープをCS6のハンドルに巻き付けてください。マジックテープでしっかりと固定させてないと、CS6がドッキングハンドルから落ちてしまうことがあります。



注記：ハンドルの取り付け方は、シースネークMAX rM200の取扱説明書を参照してください。

接続アイコン



発信機クリップオン端子



USBポート

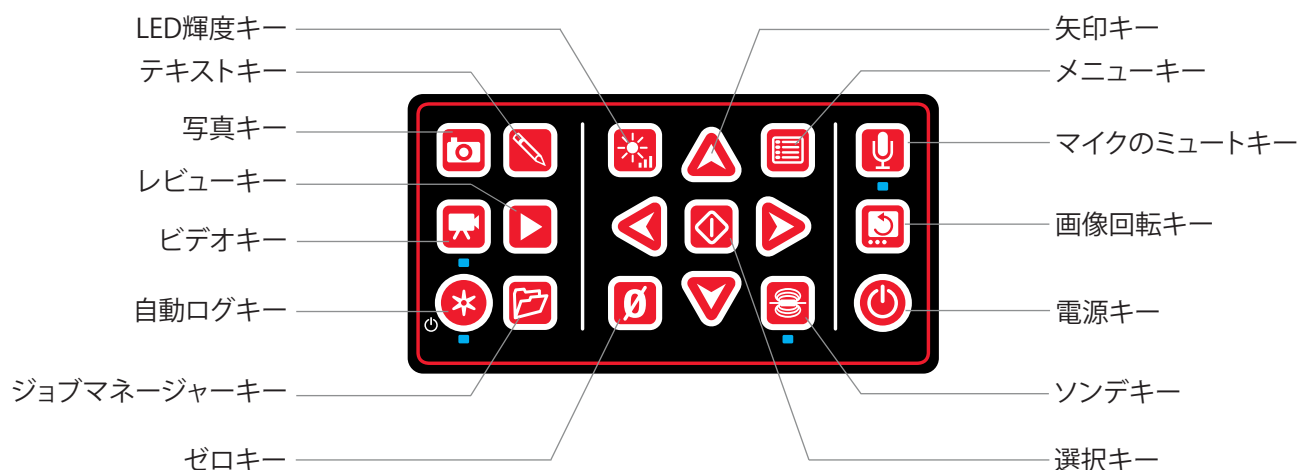


機能接地



シースネークシステムケーブルコネクション

キーパッドの概要



キーと機能		
	電源キー	システムの電源をON・OFFにします。
	選択キー	ハイライトした箇所を選択し変更を実行します。録画中に、ビデオや自動ログビデオの録画を一時停止、再開するために押します。
	矢印キー	メニューや画面を通して操作し、再生中の音量の調節をします。
	メニューキー	設定、リールオプション、LCD設定、時間、日付、地域オプション、バッテリー残量、その他の情報を編集するために、メニューを開けます。ラベルと画面を終了させるために押します。
	写真キー	写真を撮影します。ビデオまたは自動ログビデオを録画中は、録画が停止あるいは一時停止されるまでいつでも写真を撮影することができます。
	ビデオキー	ビデオ録画の開始、終了をします。
	自動ログキー	自動ログビデオの録画を開始、終了をします。USBメモリーが挿入されている場合、クイックスタートを使って検査を始めます。1つのキーを押すことで2つのことができます: システムをONにし、自動ログビデオの録画を開始します。
	テキストキー	画面にカスタムテロップとして文字を入力します。
	レビューキー	録画したメディアの見直し、ビデオの再生、注記の追加、顧客や作業場所の情報の入力、作業中のレポートの確認などをするために、ジョブレビュー画面を開けます。
	ジョブマネージャーキー	ジョブリスト、新規ジョブの作成、既存ジョブの確認、会社情報の入力、USBメモリーからのジョブの削除などをするために、ジョブマネージャーキーを開けます。
	マイクミュートキー	マイクの機能をON・OFFに切り替えます。ビデオを再生する際、音声をミュートにできます。
	LED輝度キー	カメラのLED輝度を調節します。輝度レベルに合わせて押すか、一度押して矢印キーで輝度を増減させてください。

キーと機能

	画像回転キー	短押しすると(1秒以下)、実況中に画像が180度回転します。回転した画像が録画されたメディアに出てきます。機器の設置が制限されるような状況において、ユーザーインターフェイス全体を180度回転することも可能です。長押しすると(3秒以上)、ユーザーインターフェイスが回転します。
	ソンデキー	ソンデの機能をON・OFFに切り替えます。
	ゼロキー	検査の始めに長押しすると(3秒以上)、システム測定がゼロに設定されます。短押しすると(1秒以下)、一時的な区分測定をします。二度目に短押しすると、一時的な区分測定を終了しシステム測定に戻ります。 注記: 一時的区分測定はブラケットに表れます。

操作方法

⚠ 警告



危険な化学物質やバクテリアを含んでいる可能性のある排水管を検査するときは、ラテックスあるいはゴム手袋、ゴーグル、保護面、防毒マスクなどの適切な身体保護用品の着用をしてください。ゴミやその他の異物から目を保護するために、必ず安全グラスを着用してください。

作業あるいは機器が水の中にある状態でCS6を操作しないでください。水の中での機器の操作は感電のリスクを高めます。濡れた表面上で作業する場合すべらないゴム底の靴を着用することで、転倒や感電のリスクを軽減できます。

配置

現場で機器を設置するにあたり、簡単にキーパッドに手が届きた画面に直射日光が当たらないように、CS6を置いてください配管の入り口近くにシースネークのカメラを設置すれば、画面を見ながらプッシュケーブルの操作が手際よくできます。CS6とシースネークのカメラリールが安定して置かれているか確認してください。

注記 屋外あるいは湿気のある場所で使用する場合、バッテリー電源のみをお使いください。バッテリーが雨に濡れないようにしてください。

カメラリールへの接続

CS6は、シースネークシステムケーブルを使ってどんなシースネークのカメラリールにも接続できます：

1. ケーブルリールからシステムケーブルを解いてください。
2. システムケーブルのコネクターに、外側のロックングスリーブを引き戻してください。
3. コネクターの張り出した部分とプラスチックガイドピンをソケットで合わせ、コネクターをまっすぐに押し込んでください。
4. ケーブルコネクターロックングスリーブを締めつけます。

注記 外側のロックングスリーブのみを回して締めてください。ピンへの損傷を防ぐため、絶対にコネクターを曲げたりねじったりしないでください。



5. システムの電源をONにしてください：
 - 電源キー $\odot$ を押してシステムをONにしてください。
 - 検査をクイックスタートさせるために、自動ログキー $\odot$ を押してください。1つのキーを押すことで2つのことができます：システムをONにし、自動ログビデオの録画を開始します。

注記：メディアを録画させるにはUSBメモリーが挿入されていなければいけません。

CS6を電源に接続する

電源アイコン	
	バッテリーの充電が終了している状態。
	バッテリーがある程度充電されている状態。
	バッテリーの残量が少ない状態。
	バッテリーの交換が必要な状態。
	ACアダプターが接続されている状態。

18Vリチウム充電式バッテリー

警告

互換性のあるバッテリーのみをCS6にお使いください。他のバッテリーを使用すると火災や怪我につながるおそれがあります。

CS6は互換性のある18Vリチウム充電式バッテリーによって作動します。バッテリーシューにバッテリーをスライドさせ定位置で固定させてください。

データを喪失させないために、低バッテリー残量表示やバッテリーアイコンが点滅したら録画を停止させ、チェックマークが表示されたらすぐにシステムの電源を切ってください。バッテリーを充電または交換したら再開してください。

バッテリー残量が少なすぎる状態になると、システムが進行中の録画を停止し電源が切れます。データが喪失するおそれがあります。バッテリーを充電または交換し再開してください。

注記 バッテリーの充電状態に気をつけてください。極めて低量のバッテリーを使用することで予期しなかった電源切れが起きてデータの喪失や破壊につながる可能性があります。

ACアダプタ

警告



ACアダプターは防水仕様にはなっていないので屋内のみで使用してください。感電をさけるため、ACアダプターを屋外あるいは湿気のある場所で使用しないでください。

CS6はオプションのACアダプターによって作動させることができます。バッテリーシューにACアダプターをスライドさせ定位置で固定させてください。



内蔵カウンター

全てのシースネークMAXカメラリールと多くのオリジナルシースネークカメラリールは内蔵カウンターを搭載しています。内蔵カウンターは、伸ばしたプッシュケーブルの長さの合計あるいはシステム測定を測定します。

内蔵カウンターは、システム測定が行われているのと平行して、配管の頭部あるいはつなぎ目などの暫定的なゼロポイントからある区間を測定するのに使われます。

システム測定

検査測定を開始するときにシステムをゼロポイントにセットしてください。配管の入り口、あるいは配管に入れている状態でもできます。ゼロキー^①を3秒間押し続け、システム測定をゼロにセットしてください。

一時的区分測定

検査中に一時的に区分の距離を測定するには、ゼロキー^①を押して一時的ゼロポイントをセットします。一時的ゼロポイントはブラケットで表示されます。一時的区分測定を消去しシステム測定に戻るには、ゼロキー^①をもう一度押してください。

測定表示

システム測定は画面の左下に表示されます。一時的区分測定はブラケットで表示されます。

0 cm	検査スタートポイント。システム測定はゼロにセットします。
2.89m	システムゼロのスタートポイントからの距離。
[0 cm]	一時的区分測定スタートポイント。
[81 cm]	一時的ゼロのスタートポイントからの距離。
3.70m	スタートゼロからの測定に戻ります。

検査の概要

シースネークCS6は標準あるいはアドバンス配管検査に使用できます。標準検査をする場合、CS6をシースネークカメラリールに接続し、電源をONにし、配管にプッシュケーブルを押し入れ、画像を観察してください。アドバンス検査は、それに加えてメディアを記録し顧客にレポートを送付することになります。

1. シースネークカメラリールとCS6を配管の入り口に設置してください
2. システムケーブルでカメラリールにCS6を接続してください。
3. パワーキー^②を押して、システムの電源をONにしてください。あるいは、USBドライブをモニターのUSBポートに挿入し、検査をすばやく始めるために自動ログキー^③を押してください。
4. 配管の中にカメラを注意深く入れてください。配管の入り口が鋭利な角になっている場合は、プッシュケーブルを保護してください。
5. カメラを配管に押し込んだら、画面を観察してください。
6. アドバンスオプション：
 - ・システムをゼロポイントに設定、一時的に区分距離の測定をしてください。
 - ・メディアの録画。
 - ・追加カスタムテロップ。
 - ・検査位置あるいは経路を探してください。
 - ・ジョブをレビューし、記録メディアを再生し、レポートを確認してください。
7. USBメモリーを直接顧客に送付するか、HQで編集しコンピューターにUSBメモリーを挿入してください。

メディアの録画

CS6には内蔵ストレージはありません。メディアの録画およびレポート作成には、メモリー残量のあるUSBメモリーを挿入されていなくてはなりません。メディアは、作業中は継続的に録画されると同時に自動的にオープンジョブに保存されます。次に各ジョブは、録画されたメディア、会社名、顧客情報および注記などをレポートに記載します。

実況、ソンド操作、ゼロポイント設定あるいはカメラの輝度調整などの標準検査においてはUSBメモリーは必要ではありません。

インターフェイスアイコン	
	USBメモリーが挿入されています。USBメモリーの下のは、USBメモリー残量を表示します。
	録画されたメディアは絶えずUSBメモリーに記録されます。録画メディアがどの程度書き込まれたかパーセントで表示されます。この例では、録画の99パーセントがUSBメモリーに保存されました。USBドライブを外さないでください。
	録画メディアは処理されUSBメモリーに保存されました。USBドライブを外さないでください。
	処理が終了してメディアが全て保存されました。USBメモリーを抜去しても安全です。
	ジョブを開けます。
	実況中のイメージが回転しました。

注記 早まってUSBメモリーを抜去すると、データの喪失や破壊につながる場合があります。

最新録画を確認する

最新録画を確認するには、レビューキーを押してください。ビデオまたは自動ログビデオを簡単に再生するのにこのキーを使うと便利です。オープンジョブのすべての録画メディアを確認することができるジョブレビューの画面から、レポートレビューにアクセスしてください。終了して実況に戻るにはメニューキーを押してください。

写真を撮影する

写真撮影のために写真キーを押してください。一時的に写真アイコンが表示され、写真はオープンジョブのUSBメモリーに自動的に保存されます。

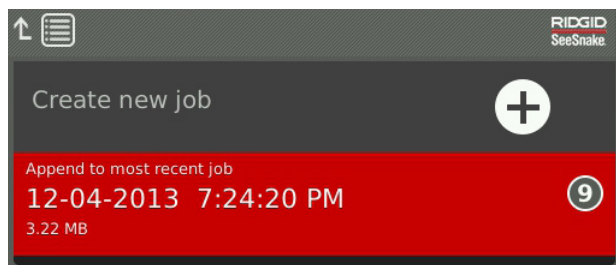
自動ログビデオを録画する

自動ログビデオの録画を始めたり、停止するには自動ログキーを押してください。自動ログビデオが録画されているときは、キーの下LEDが点灯し、自動ログビデオアイコンが赤く表示されます。

選択キーを押すと自動ログビデオを一時停止します。自動ログビデオ録画が一時停止しているときは、赤い自動ログビデオアイコンが黒に変わります。選択キーを押すと自動ログビデオの録画が再開します。

自動ログビデオの録画を停止するには、自動ログキーを押してください。黒い自動ログビデオアイコンは自動ログ録画が停止して処理中であることを示しています。録画が処理され、オープンジョブに保存される間少々お待ちください。チェックマークは、録画の処理がスムーズに終了しUSBメモリーに保存されたことを示します。

検査をクイックスタートさせるために自動ログビデオ録画を使ってください。システムの電源がOFFの場合、電源をONにし自動ログビデオを自動的に録画し始めるために、自動ログキー $\odot$ を押してください。入力催促が出たら、新規ジョブの作成あるいは最新のジョブへの追加を選んでください。



注記:自動ログキーを押してシステムの電源をOFFにすることはできません $\odot$ 。

自動ログビデオとは？

自動ログビデオは継続的な音声録音とビデオ圧縮の調整可能なフレームレートから成り立っています。自動ログビデオのビデオ圧縮率は、従来のビデオ録画サイズの約十分の一です。自動ログビデオは従来のビデオ録画に似ています。が、カメラが動いてないときは、配管検査ビデオの静止したままの特徴を利用し、画像を徐々に更新することによって、圧縮度をさらに高く（低ファイルサイズ）することに成功しました。

カメラが配管内を動いているときは、状況を把握するために自動ログビデオは1秒間に5コマの画像を録画しています。カメラの動きが停止すると、自動ログビデオは5秒間に1コマの画像を録画します。

従来のビデオ録画に比べて相当量のファイルサイズが縮小されたことで、ファイルの移動が容易なうえに低コストになりました。自動ログキー $\odot$ は検査のクイックスタートに使用できます。システムの電源が切れているときに押すと、装置がONになり新規のジョブを作成し、自動ログビデオの録画を始めます。自動ログビデオで、ビデオ録画と写真撮影をしているあいだに、小さなファイルフォーマットに配管検査のすべてを録画できます。

ビデオを録画する

ビデオ録画を始めたり停止するにはビデオキー REC を押してください。ビデオを録画しているとき、キーの下LEDが点灯し赤いビデオアイコン REC が表示されます。

選択キー SEL を押すとビデオ録画を一時停止します。ビデオ録画を一時停止すると、赤いビデオアイコンが黒いビデオアイコン PAUSE に変わります。選択キー SEL を押すとビデオ録画が再開されます。

ビデオ録画を停止するときには、ビデオキー REC を押してください。黒いビデオアイコン PAUSE はビデオ録画が停止し処理していることを示します。録画が処理され、オープンジョブに保存されている間、少々お待ちください。チェックマーク OK は、録画の処理がスムーズに終了しUSBメモリーに保存されたことを示します。

音声を録音する

音声録音機能をON・OFFに切り替えるにはマイクのミュートキーを押してください。マイクを使用する場合、キーの下LEDが点灯しマイクのアイコンが黄色になります。ビデオが録画されて、マイクを使用しない場合、マイクのアイコンが赤くになります。マイクを使用しない場合、マイクのアイコンがグレイになります。

デフォルトによってマイクは使用状態になっています。自動ログビデオとビデオ録画をしている最中は、作業者のコメントが損なわれることなく途切れないよう音声を継続的に録音します。ビデオあるいは自動ログビデオの録画が一時停止するとき、音声も一時停止します。

再生のあいだ、録音の音量調節をするためには上げ下げ矢印キー を押してください。

複数録画

ビデオや自動ログビデオを同時に録画することも、どちらか1つを録画することもできます。どちらの録画タイプでももう一方に影響することなくスタート、停止することができます。一時停止は、どちらの録画タイプにも影響します。ビデオ、自動ログビデオの録画中に写真を撮影することができます。

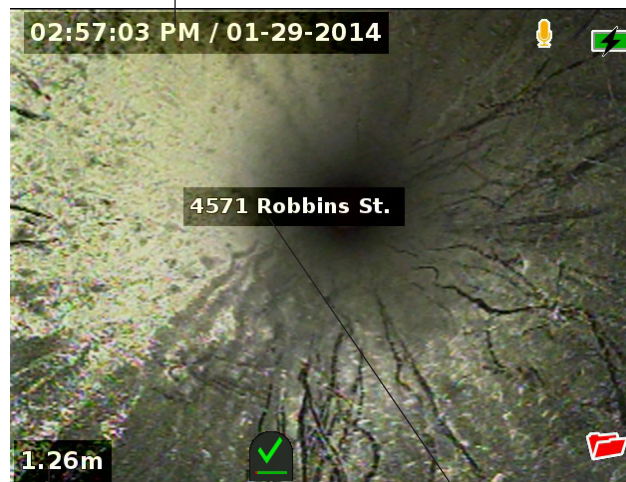


カスタムテロップ

注記：時間/日付、計数の表示については、テロップの章の構成の詳細を参照してください。

カスタムテロップは、ビデオ画像の上に重ねられ、録画されたメディアファイル(写真、ビデオ、自動ログビデオ)に半永久的に残ります。カスタムテロップは録画メディアを削除するまで表示されます。

日付/時間/テロップ



カウントテロップ

カスタムテロップ

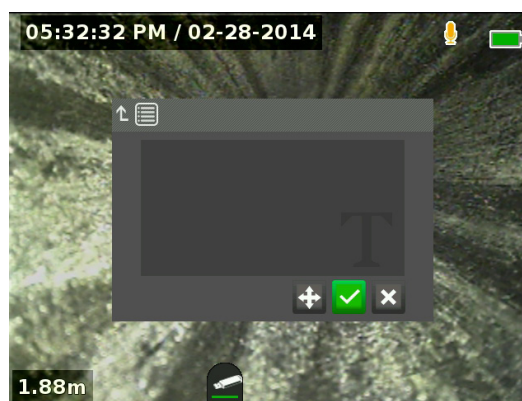
カスタムテロップアイコン

	移動	テキストボックスの位置を調整します。
	保存	すべてのメディアに表示されるように文字を保存します。
	破棄	変更を破棄し終了します。

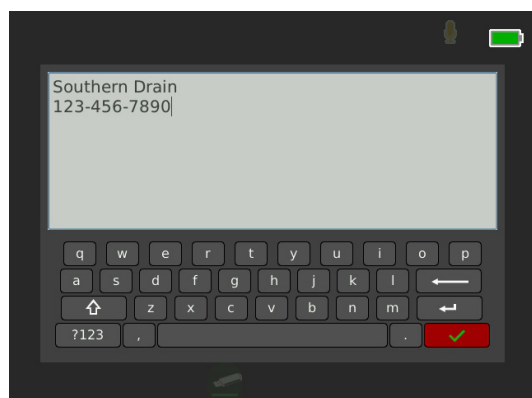
注記：シースネークカメラリールの中には、カメラの画像に字幕可能な文字を作り出すカウンターが搭載されているものもあります。カウンタータイトルの特徴はリールのカウンターキーパッドによって操作され、CS6からは独立しています。CS6のキーパッドで作成した画面上の文字は、リールのカウンターキーパッドで編集や削除できません。

カスタムテロップの追加

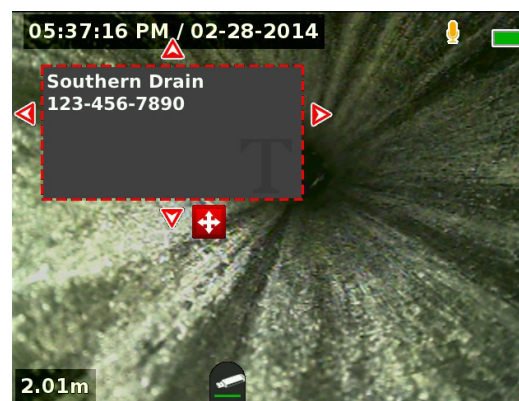
1. テキストボックスを開くにはテキストキーを押してください。



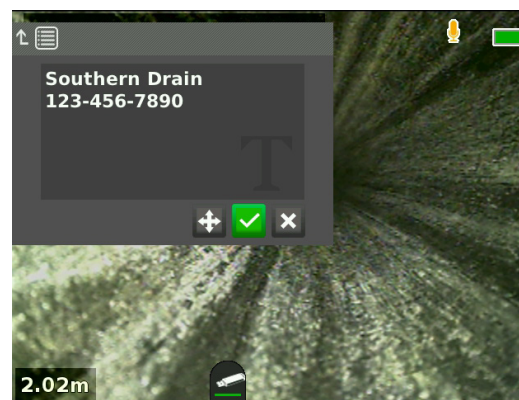
2. 画面上のキーボードを開くには、選択キーを押してください。
 - 文字をハイライトするには、矢印キーを使い、入力するには、選択キーを押してください。
 - 文字を保存するには、保存アイコンをハイライトして、選択キーを押してください。



3. 移動アイコンをハイライトし選択することで、画面上の動かしたい場所に文字の位置を動かします。テキストボックスを動かすには矢印キーを使い、配置を保存するためには選択キーを押します。

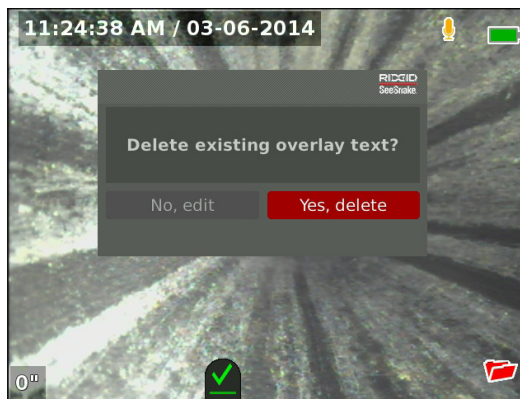


4. ビデオ画像の上に文字を重ねるには、保存アイコンをハイライトし選択キーを押し、実況に戻ります。



カスタムテロップを削除、編集する

テロップの文字を削除、編集するにはテキストキー  を押して、はい・削除、いいえ・編集のどちらかをハイライトし、選択キーを押してください .



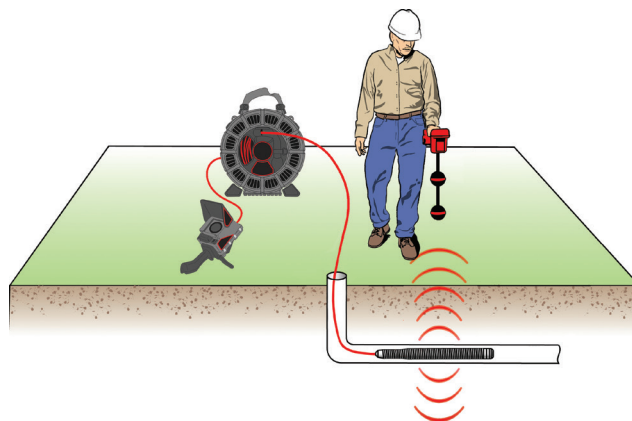
ゾンデを探知する

多くのシースネークカメラリールは、配管内の探知位置を探し出せるようにゾンデが搭載されています。ゾンデはスプリングの中に設置され、プッシュケーブルの先とカメラの間に組み込まれます。ゾンデ発信機は512Hzに設定され、RIDGIDシーテックSR-20、SR-24、SR-60、スカウト™またはナビトラックIIなどの受信機で探知されることが可能です。

ゾンデが可能か不可能かゾンデキー  を押してください。ゾンデを作動させる場合、キーの横のLEDが点灯しゾンデアイコン  が表示されます。512Hzのゾンデ信号が、記録されたメディアを明らかにするかもしれない回線を干渉する可能性もあります。

ゾンデを探知するために、以下の手順に従ってください：

1. 受信器の電源を入れ、ゾンデモードに設定してください。
2. どちらに配管が行くかでゾンデのだいたいの方角を探知してください：
 - ゾンデを作動させ、配管内5m以内にプッシュケーブルを押し込んでください。
 - 受信器でゆっくりと円弧を水平に描きます。
3. 受信機がゾンデを探知すると、信号の強度が最高になります。



注記：ゾンデを探知する手順は、お使いの受信器の取扱説明書を参照してください。

プッシュケーブルをライン探知

プッシュケーブルのライン探知で配管の経路を探せます。これは、非金属あるいは伝導性のない配管に特に有効です。プッシュケーブルの中に電流を誘導し発信機を使ってライン探知します。

注記：CS6の電源を必ずONにし、シースネークカメラリールと、プッシュケーブルをライン探知する発信機が接続されているか必ず確認してください。

プッシュケーブルをライン探知するために、以下の手順に従ってください：

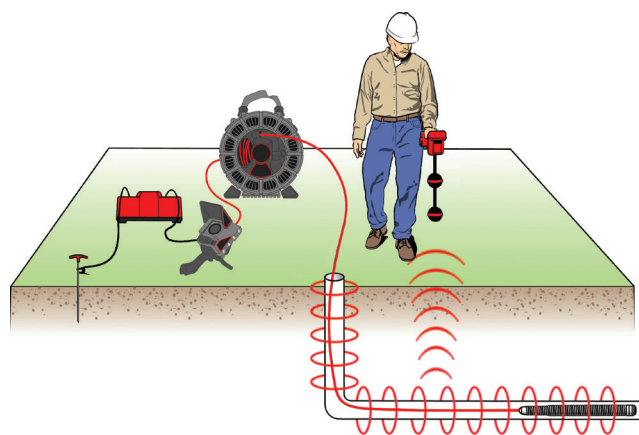
1. 送信機のアース棒を地面に突き刺して、発信機のリード線の1本をそこに引っ掛けてください。
2. CS6の後ろの発信機のクリップオンターミナルに他のリード線をかけてください。



3. 送信機の電源を入れ、希望する周波数に合わせてください。最良の結果を出すには、33 kHzかそれ以上の周波数を使用してください。

4. 受信機の電源を入れ、発信機と同じ周波数に合わせてください。

5. ラインの探知。



注記：ライン探知に関する詳細は、お使いの発信機と受信機の取扱説明書を参照してください。

ジョブレビュー

ジョブレビュー画面を開けて、レビューキーを押してください。検査のあいだ、ジョブレビュー画面には最新の録画メディアが開けられています。進行中の録画を見ることはできないので、見る前に録画を停止することをおすすめします。

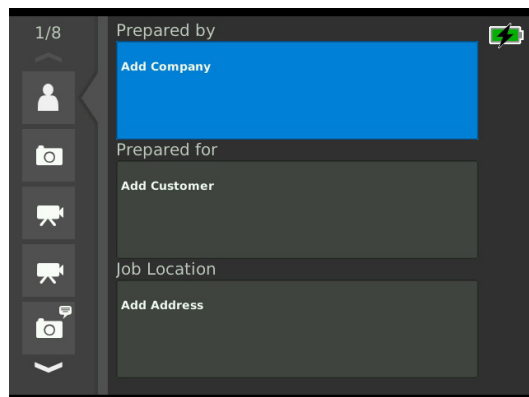
ジョブレビュー画面から、オープンジョブの記録メディアの確認や編集、個々の記録に注記を追加、レポートに記載する記録の選択、顧客の情報を入力、レポートの確認などができます。

ジョブレビューのラベル		
	お問い合わせ	会社名、顧客情報、作業場所の詳細を入力します。
	写真	写真を見たり注記を追加します。
	ビデオ	ビデオを再生したり注記を追加します。
	自動ログビデオ	自動ログビデオを再生したり注記を追加します。
	ノート	文字の吹き出しは、この記録に注記が追加されたことを示します。
	録画中...	赤い点は録画中であることを示します。録画中はビデオあるいは自動ログビデオの再生はできません。
	除外メディア	この単一の記録は除外されたと見なされレポートに表れませんが、ジョブの一部なので挿入されたUSBメモリーには残ります。
	レポート情報	写真枚数、ビデオ本数、あるいは自動ログビデオ本数などのメディアの統計が見れます。問い合わせ情報がレポートに入力されているかどうか見れます。この画面からジョブレポートを確認することができます。

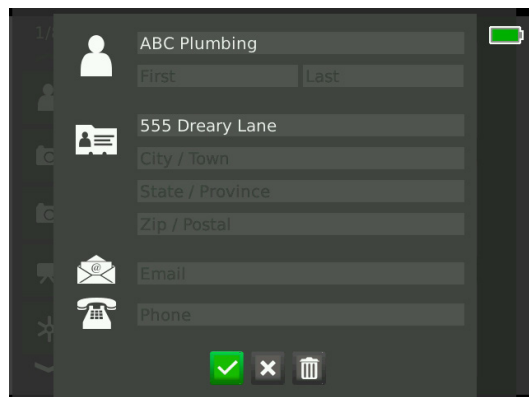
ジョブの詳細を入力

ジョブレビュー画面の上の部分の問い合わせラベルから作業者の会社情報、顧客情報、作業場所を追加できます。問い合わせラベルの部分に入力した情報はレポートの見出しに使用できます。

1. レビューキーを押して、問い合わせラベルに進んでください.
2. 入力した情報のタイトルをハイライトしてください：会社名、顧客、あるいは住所など。テキストフォームを開けるには選択キーを押してください。



3. 編集したい部分をハイライトして、テキストボックスを開けるために選択キーを押し、画面上のキーボードを使って文字を入力してください。



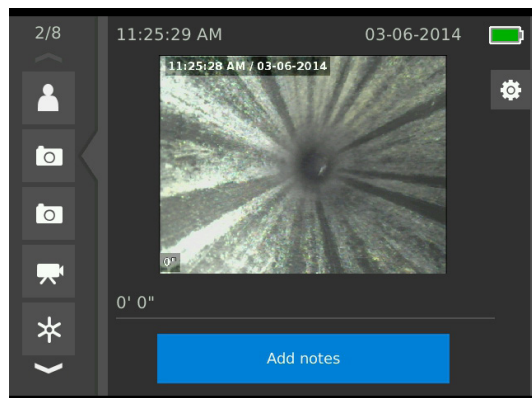
注記：画面上のキーボードの使い方はカスタムテロップの章を参照してください。

4. 他の部分も繰り返し、終了したら保存アイコンをハイライトして、選択キーを押して保存し、問い合わせラベルに戻ります.

メディアに注記を追加する

ジョブレビュー画面から個々の記録(写真、ビデオ、自動ログビデオ)に注記を追加できます。

1. 注記を追加したい記録に進み、追加注記をハイライトしてください。



2. テキストボックスを開けるために選択キー $\square$ を押し、文字を入力するために画面キーボードを使ってください。

注記: 画面キーボードの使い方はカスタムテロップの章を参照してください。

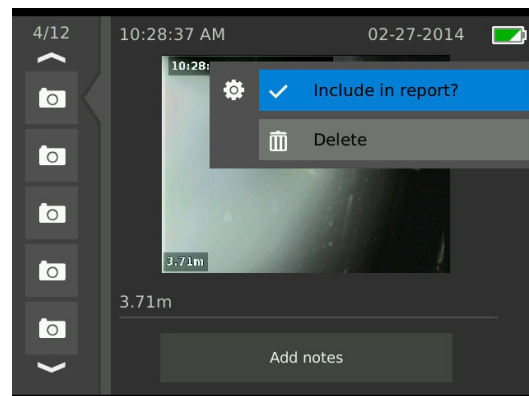
3. 注記を保存するには保存アイコン $\checkmark$ をハイライトしてください。注記を破棄するには破棄アイコン $\times$ をハイライトしてください。
4. 選択キー $\square$ を押してください。

注記: ジョブレビュー画面に入力した文字は、USBメモリーの中のオープンジョブに保存され、HQにインポートされるときにメディアの記録と一緒に移動します。

メディアの除外

デフォルトによって、すべての記録メディアはジョブレポートに盛り込まれます。ご希望であれば、永久的に特定の記録をジョブからは削除せずにレポートから除外するように指定できます。これはUSBメモリーにメディアを残しますが、レポートから省けます。

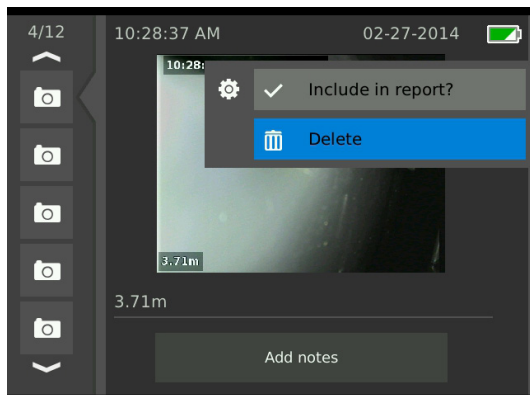
1. レポートから除外したいメディアに進み、設定アイコンをハイライトし、右矢印キー $\rightarrow$ を押してください。
2. 選択キー $\square$ を押してください。



3. レポートに含むをハイライトし、含む $\checkmark$ と除外する $\square$ のどちらかに合わせて、選択キー $\square$ を押してください。
4. 終了するにはメニューキー $\square$ を押してください。

メディアの削除

1. ジョブから削除したいメディアに進み、設定アイコンをハイライトし右矢印キー▶を押してください⚙️。
2. 選択キーを押してください⏏️。

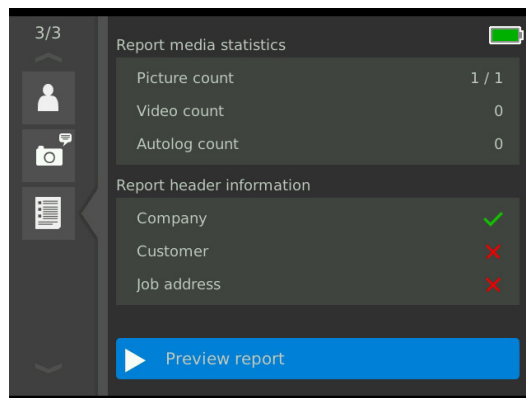


3. 削除アイコン🗑️をハイライトし、選択キー⏏️を押してください。
4. 終了するにはメニューキー☰を押してください。

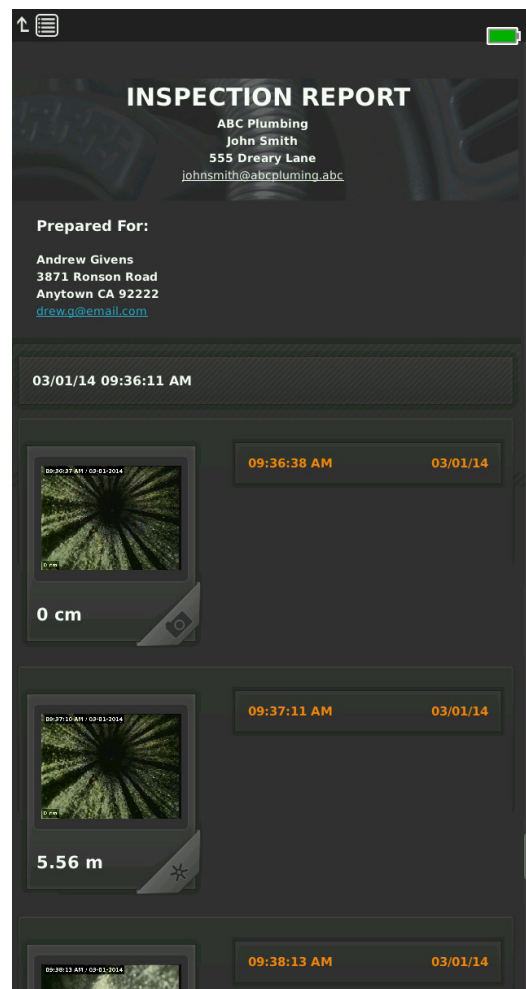
注記: ジョブレポートから永久にメディアを削除するということは、ジョブから削除するということです。

レポートの確認

1. ジョブレビュー画面の下レポート情報ラベル📄に進んでください。
2. レポート確認をハイライトし、選択キーを押してください⏏️。



3. レポート確認にスクロールさせて下矢印キー▼を押してください。



4. 終了するにはメニューキー☰を押してください。

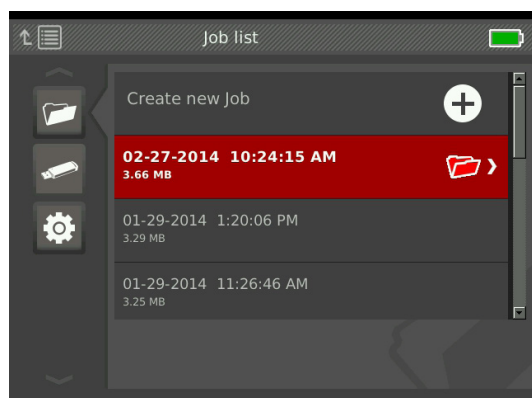
ジョブを管理する

USBメモリーに保存済みの全てのジョブは、ジョブマネージャーに記載されています。以下のラベルにアクセスするにはジョブマネージャーキーを押してください：ジョブリスト、USBオプション、ジョブ設定。

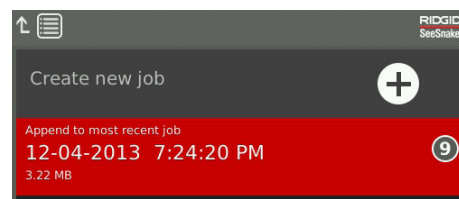
ジョブマネージャーラベル		
	ジョブリスト	USBメモリーの全てのジョブのリストを含みます。新規ジョブを作成し、ジョブを開けたり閉じたりします。新規ジョブを確認あるいはどのジョブを開けるか変更します。
	USBオプション	USBメモリーから全てのジョブを永久に削除します。
	ジョブ設定	作業者の会社情報を追加し、自動的にレポートに入力するかどうか選択します。

ジョブリスト

検査をしているあいだ、メディアは継続的に記録され、オープンジョブに自動的に保存されます。ジョブが開いているときは、オープンジョブアイコンを実況状況とジョブリストに表示します。

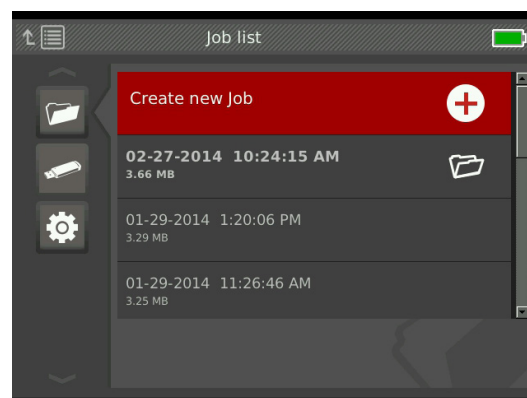


どのジョブも開いていないときにメディアを記録するには、新規ジョブ作成あるいは最新のジョブに追加を選択してください。新規メディアは作業者の選択へ保存します。



新しいジョブを作成

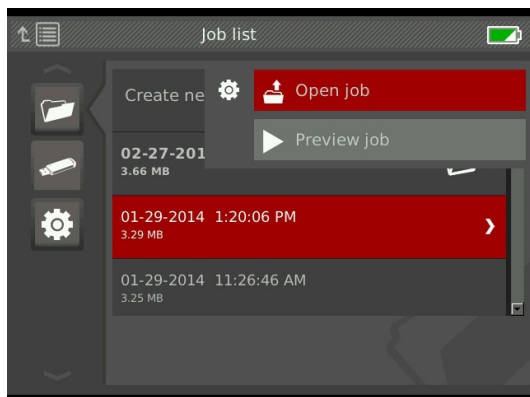
新規ジョブを作成するには、ジョブリストラベルに行き、新規ジョブ作成をハイライトし、選択キーを押してください。新規ジョブは、作成時の日付と時間で呼ばれます。新しくジョブを作成するとオープンジョブになります。



オープンジョブ/プレビュージョブ

USBメモリーに保管されているジョブを開けるか確認するには、ジョブリストラベル  に行き、確認したいジョブをハイライトするか開けるか選択キーを押してください .

- オープンジョブは、ハイライトされたジョブに新しく記録されたメディアを保存します。
- プレビュージョブはジョブレビュー画面を開け、全ての記録メディアとジョブ、あるいは入力されている顧客情報を表示します。ジョブレビュー画面で顧客やジョブ情報の追加や編集ができます。



注記: ジョブがすでに開いている場合は、このメニューからジョブを閉じることができます。

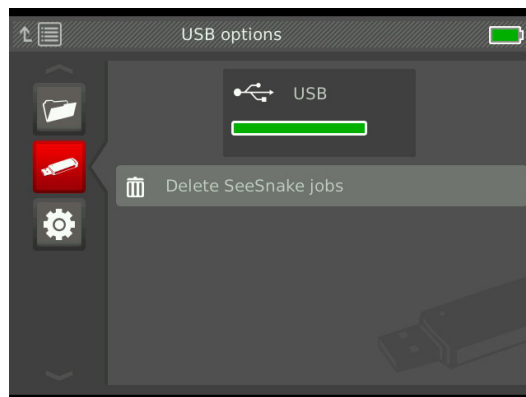
USBオプション

USBオプションラベルはUSBメモリーの残量を表示します。細長い赤い部分はUSBメモリーにすでに入っているデータの容量を表示し、緑の部分は残量を表示します。チェックマーク  はUSBメモリーが安全に抜去されたということを示しています。

注記: 早まってUSBドライブを抜去すると、データの喪失や破壊につながる場合があります。データが書き込まれているとき、USBインジケーターのLEDが点滅します。

ジョブを削除

USBメモリーから永久に全てのジョブを削除するには、USBオプションラベル  に進み、シースネークジョブを削除をハイライトし、選択キーを押してください .

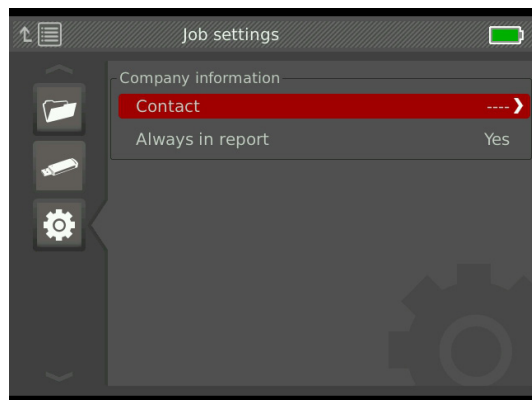


注記: 個々のジョブではなく、USBメモリーの中の全てのジョブのみ削除できます。特定のジョブを削除するにはHQのUSBメモリーを見てください。

ジョブ設定

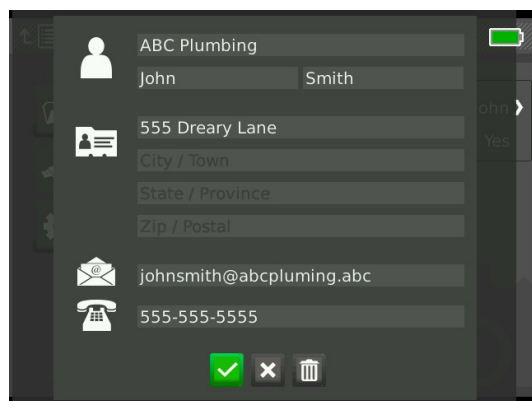
作業者の会社情報を追加できるし、その情報をジョブレポートのヘッダーに記載するかどうかデフォルトで選択できます。

1. ジョブ設定ラベルに進んで、問い合わせをハイライトし、選択キーを押してください。



2. 編集したい部分をハイライトして、テキストボックスを開けるために選択キーを押し、画面のキーボードを使って文字を入力してください。

注記:画面のキーボードの使い方は、カスタムテロップの章を参照してください。



3. 他の部分も繰り返してください。終わったら、保存アイコンをハイライトし、選択キーを押してください。
4. ジョブ設定ラベルで、常時リポートをハイライトし、はい・いいえのどちらかに合わせて選択キーを押してください。

システム設定

メニューラベルにアクセスしてメニューキーを押して設定を編集してください。ラベル、選択、変更の中に進み、矢印キーと選択キーを押してください。終了するにはメニューキーを押してください。



メニューラベル		
	CS6の設定	スピーカーの音量、音声あるいはキーボードの設定を調節します。
	リールオープン	テロップ詳細をいつどんなふうに表示させるか、測定装置、デフォルトソンドを設定します。
	LCD設定	LCDディスプレイの輝度とコントラストの調整をします。
	日付と時間	日付と時間の修正をします。
	電池情報	バッテリータイプ、シリアル番号、測定電圧情報、気温、測定電流、電源を確認します。
	地域オプション	言語及びその他の地域別設定の変更をします。
	製品について	ソフトウェアのバージョン情報の確認とシステム設定の復元をします。

テロップ詳細

テロップの詳細は、検査の日付と時間、測定計数などを含みます。いつものように画面やメディアに詳細を表示したいかどうか選べます。変更するにはリールオプションラベルに進み、テロップをハイライトし、オプションを見て回り右矢印キーを押します。

テロップ詳細	
表示のみ	日付、時間、測定計数を表示し、メディアの記録はしません。計数と日付・時間の両方の文字サイズの調整が可能です。
ビデオ	日付、時間、測定計数を表示し、メディアに記録します。文字サイズはこのモードであらかじめ設定されます。
リール	リールに接続されているドラムキーパッドに入力したテロップを表示します。文字サイズはこのモードであらかじめ設定されます。
オフ	日付、時間、測定計数は全く表示されません。

システム設定の復元

メインメニューからシステムの設定を復元できます。アバウトラベルに進み、システム設定の復元をハイライトし、選択キーを押してください。



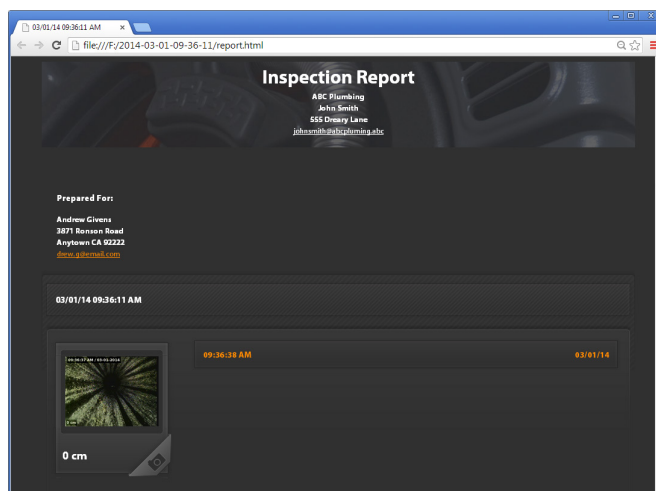
レポートの送付

CS6の最も利用価値の高い特徴の1つは、作業しながら自動的に広範囲にわたる専門的な形式のレポートをまとめ上げ、手際良く顧客に送付できることです。このようなレポートは、顧客と検査の結果に関して連絡を取り合う方法として大変役立つものです。多くの場合、現場を出る前にレポートの入ったUSBメモリーを顧客に渡すことができます。

HQで編集無しでレポートを送付する場合、USBメモリーを顧客に送付する前にCS6あるいはコンピューターでレポートの確認ができます。

コンピューターでレポートを見るには、以下の手順に従ってください：

1. USBメモリーをコンピューターに挿入してください。
2. 「report.html」という名前のファイルを開けてください。



注記：ウェブのブラウザでレポートは開きますが、レポートを見るためにインターネットに接続する必要はありません。

3. フルサイズの写真を見たり、ビデオまたは自動ログビデオを再生するには、記録メディアをクリックしてください。
4. コンピューターからUSBメモリーを抜去しても安全です。

レポートをよりカスタマイズあるいは追加編集するためには、コンピューターにHQがインストールされているUSBメモリーを挿入してください。USBメモリーから自動的にジョブにHQがインポートします。

ソフトウェア

HQソフトウェア



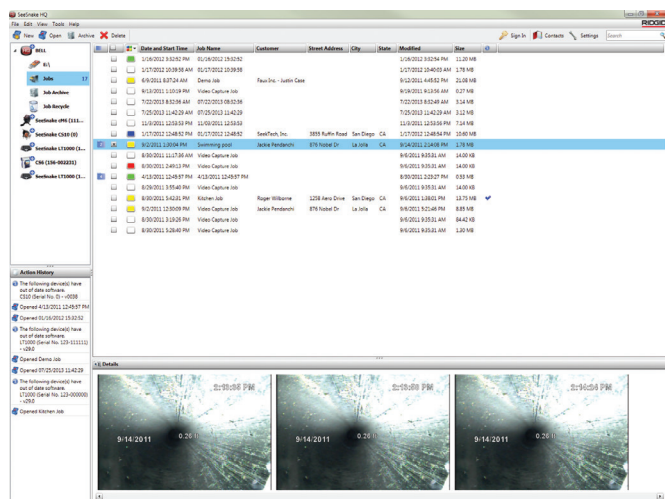
HQは、検査中に記録されたメディアを管理し、簡単に設計されたソフトウェアです。HQは、ジョブやメディアの管理・収容、顧客情報の保管、レポートのカスタマイズ、DVDの制作、完成したレポートあるいは顧客への個々のメディアの発送をするのに使います。

CS6に付属されている8 GBのUSBメモリーにはHQがあらかじめインストールされていますUSBメモリーに含まれるHQをインストールするには、CS6のシリアル番号が備品ロッカーに正確に登録されているか必ず確認してください。あるいは、付属品のディスクまたは下記のサイトから最新のHQをインストールできますwww.hq.seesnake.com。

CS6のソフトウェアのアップデートは、HQを通して配給されます。アップデートを受信するには、HQの備品ロッカーにCS6を登録しなければいけません。

HQに関して

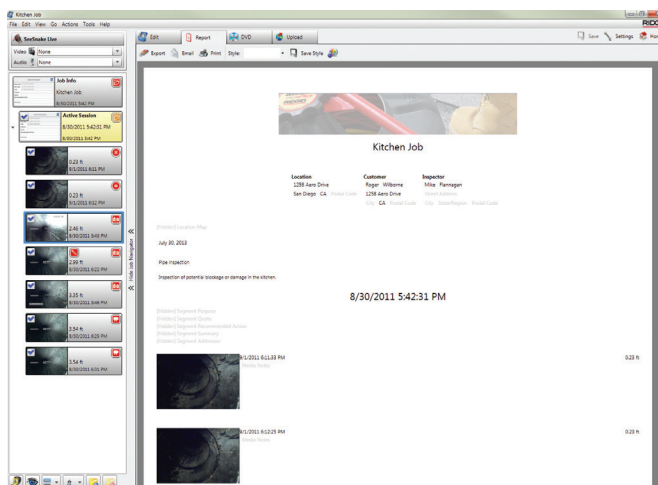
HQは、PCのWindows7、Windows8、あるいはWindows8.1にインストールできます。ソフトウェアは18カ国語に翻訳され、世界中で使用されるようローカライズされています。



HQは、ジョブの管理と分類とバックアップ、写真の編集、ビデオクリップの作成と編集、注記の追加、顧客の詳細、ジョブ情報のツールを取り揃えています。



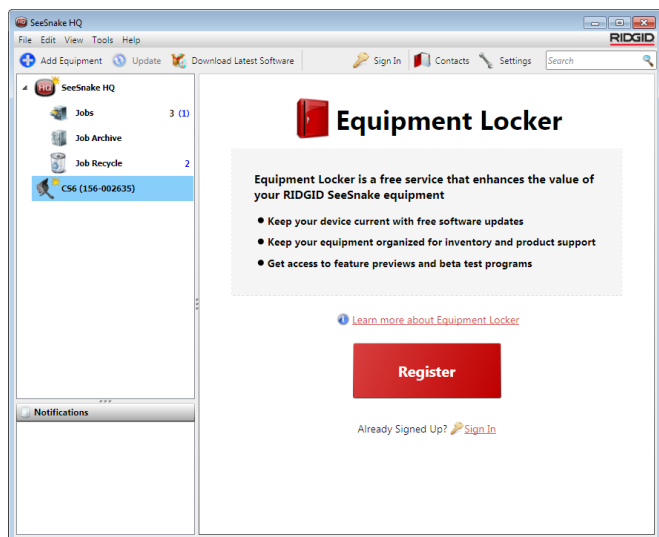
HQから印刷可能なPDFをメールをしたり、マルチメディアなデジタルのジョブレポートあるいはDVDへの書き込みが可能です。作業者の会社のロゴや問い合わせ情報を入れるというようなレポート形式のカスタマイズは簡単です。プロモーションやレポートの情報を提供するような写真やビデオクリップを追加することもできます。



HQの内容を、検査メディアとレポートを保管や共有するために、オンラインサービスのRIGIDコネクトにアップロードできます。RIGIDコネクトに関する情報は、下記のサイトでご覧になれますwww.rigidconnect.com。

CS6ソフトウェアのアップデートに関して

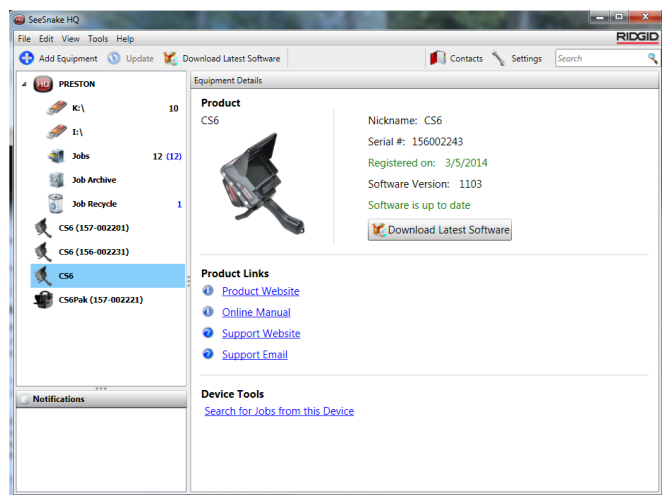
ソフトウェアのアップデートが可能になるときに自動的にお知らせがくるよう、HQの備品ロッカーにCS 6 を登録してください。



注記：アップデートをインストールするためには、FAT32をフォーマットする必要があります。32 GB以上のUSBメモリーは使用できません。

システムのソフトウェアをアップデートするには、以下の手順に従ってください：

1. HQを開けます。
2. アップデート可能なメッセージがあるか見るために、CS6アイコンをクリックしてください。
3. 最新のソフトウェアをダウンロードするをクリックしてください。



4. USBメモリーをコンピューターに挿入し、HQの手順に従ってください。
5. コンピューターからUSBメモリーを安全に抜去し、CS6に挿入してください。
6. CS6の電源をONにし、アップデートを開始するために選択キー(ⓧ)を押してください。システムが確認、再起動、アップデートをインストールし、もう一度再起動してプロセスを終了します。

メンテナンスとサポート

クリーニング作業に関する注意事項

⚠ 警告



感電のリスクを軽減させるため、全てのコードとケーブルを抜き、クリーニングの前にバッテリーを取り外してください。

CS6のクリーニングに最適なのは湿った布です。クリーニングの前にUSBポートを閉じてください。

CS6に液体がかからないようにしてください。ホースで水をかけないでください。液体洗浄剤または研磨剤などを使用しないでください。LCD画面専用の洗浄剤のみで画面をきれいにしてください。

付属品

CS6専用あるいは適した付属品のみを使用してください。他のツールに設計された付属品はCS6を使用する際に、危険を伴うこともあります。

以下のRIDGID製品はCS6用に設計されたものです：

- ・ シースネークrM200
- ・ オリジナルシースネークカメラリール
- ・ シースネークMAXカメラリール
- ・ 充電器付きバッテリーキット2個
- ・ 充電器付きバッテリーキット1個
- ・ RIDGID ACアダプター
- ・ RIDGID シーテックまたはナビトラック受信機
- ・ RIDGID シーテックあるいはナビトラック発信器

機器の運搬と保管

CS6の保管、運搬には以下の事項を念頭においてください：

- ・ 子供や部外者の手の届かない施錠された場所に保管してください。
- ・ 感電のリスクの軽減されるよう、乾燥した場所で保管してください。
- ・ ラジエーター、ヒーターの通風器、コンロ、その他の熱を発する製品（増幅器を含む）から遠ざけて保管してください。
- ・ 保管に適した温度は、-10°Cから70°Cです。
- ・ 運搬時に強い衝撃や衝突を与えないように注意してください。
- ・ 輸送または長期保管する場合には、事前にバッテリーを取り出してください。

点検と修理

不適切な点検や修理は、CS6Pakを安全に操作できなくなる原因になります。

シースネークの機器の点検と修理はRIDGID認定サービスセンターにお問い合わせください。機器の安全を維持するためには、資格のある修理技術者のみにCS6Pakの修理を依頼し、必ず同じ部品と交換するようにしてください。以下の状態が発生した場合は、CS6Pakの使用を中止し、サービスセンターに連絡してください：

- 機器の上に液体をこぼしたり、中に異物が入ってしまった場合。
- 操作指示に従っているのに、機器が正常に作動しない場合。
- 機器が落下、あるいは損傷を負った場合。
- 機器の性能に明らかな変化が見られる場合。

お近くのRIDGID認定サービスセンター情報、点検、修理に関するご質問は販売店か下記へお電話頂くか、メールでご連絡ください。

日本エマソン株式会社リッジ事業部
〒105-0022
東京都港区海岸1-16-1
ニューピア竹芝サウスタワービル7F

TEL: (03)5403-8560 (代)
FAX: (03)5403-8569

(祝祭日を除く月曜日から金曜日9:00～17:00)
メールアドレス: Ridgid@emerson.co.jp
<http://www.ridgid.jp>

- Ridge技術サービス部門の rtctechservices@emerson.com、もしくはアメリカ、カナダの場合は800-519-3456にお問い合わせください。

廃棄



本体にはリサイクル資源としての価値がある部品が含まれています。お住まいの地域のリサイクル専門業者をご使用ください。すべての適用規制に従って、構成部品を廃棄してください。詳しい情報については、お近くの廃棄物処理会社にお問い合わせください。

EC諸国: 電気機器を家庭用廃棄物として捨てないでください。

電器電子機器の廃棄に関する欧州指令2002/96/ECと各国法令の実施により、使用できなくなった電子機器は個別に回収され、環境に悪影響を及ぼさない方法で廃棄されなければなりません。

バッテリー廃棄



RIDGIDはリチャージャブル・バッテリー・リサイクリング・コーポレーション (RBRC™) によって運営されているCall2Recycle®プログラムとライセンス契約を結んでいます。ライセンス保有者としてRIDGIDはRIDGID充電式バッテリーのリサイクル費用を負担しています。

米国・カナダ国内では、RIDGIDおよび他のバッテリー販売業者がCall2Recycle®プログラムを使用しており、3万箇所以上のネットワークで充電式バッテリーの回収やリサイクルを行っています。使用済みのバッテリーはリサイクル回収場所へお持ちください。回収場所についての詳細は、電話番号800-822-8837にお問い合わせいただくか、あるいは、ウェブアドレスwww.call2recycle.orgにアクセスしてください。

EC諸国: 不良または使用済みのバッテリーパック・バッテリーはガイドライン2006/66/ECに従ってリサイクルしてください。

トラブルシューティング

問題	問題の推定原因	解決方法
システムの電源が入らない	電源	バッテリーが互換性のあるモデルかどうか確認してください。バッテリーシューが合致しても全てのバッテリーに互換性があるとは限りません。
		バッテリーを充電してください。
		AC電源に切り替えてください。
メディアを記録できない	USBメモリーが挿入されていない	USBメモリーを挿入してください。メディアを記録するにはUSBメモリーを挿入する必要があります。
		ご使用のUSBメモリーが機能しているか、損傷していないか、読み出し専用かを確認してください。
再生の際に音が出ない	スピーカーがミュートになっている	マイクのミュートキー  の下LEDが点灯しアイコンが黄色になっているかどうか確認してください。
	設定と調整	スピーカーの音量とマイクゲインを設定をするために、設定ラベルに行ってください。
USBメモリーを挿入した後で損傷ファイル警告が表示される	データが完全に書き込まれる前にUSBメモリーを抜去するとファイルが破壊することがあります	ファイルの復元をするプロンプトが出たら修復オプションを選択してください。
ジョブマネージャーが空である	USBメモリーが挿入されていない	USBメモリーを挿入してください。ジョブデータはUSBメモリーのみに保管されます。CS6には内蔵メモリーはありません。
画面が暗すぎる、あるいは見づらい	画面のグレア	画面を直射日光から離して設置してください。
	LCD設定	LCD画面設定を調整するためにLCD設定ラベルに行ってください。
	カメラのLED設定	カメラのLED輝度を調整するためにLED輝度キー  を押してください。
低電池残量警告が出る	低電池残量	データの消失を避けるために電源をOFFにしてください。バッテリーを充電するかAC電源に切り替えてください。
測定計数が正確ではない	ドラムまたはプッシュケーブルに対しドラムの搭載カウンターの設定が不正確である	ケーブルの長さ、ケーブルの直径、ドラムの設定が正確か確認してください。
	間違ったゼロポイントから数えている	適切なゼロポイントから測定が開始されているか確認してください。
実況が見れない	電源が入っていない	バッテリーが充電されているかACアダプターが適切に接続されているか確認してください。
	スリッリングアセンブリーが壊れている、あるいは接続に欠陥がある	すべての整合と接続ピンを確認してください。 配置とスリッリングアセンブリーのピンの状態を確認してください。
	システムケーブルの接続に欠陥がある	システムケーブルの接続を点検してください。コネクタが定位置まではめ込まれているか、外側のロックングスリーブがしっかりとしているか確認してください。

保証や修理について

保証期間：

保証は製品のご購入日から1年間とします。また、ご購入時の領収書は大切に保存してください。保証修理時に必要となります。

保証の範囲：

本機器の製造上および、材料に欠陥があった場合のみ保証の対象となります。

保証の適用対象外の事項について：

誤用、濫用、通常の摩耗や亀裂による故障は、本保証の対象に含まれません。また、消耗品等の自然消耗、劣化などの理由による交換や修理は対象外となります。弊社は、本機器の故障、又はその使用によって生じた、付随的損害または間接的損害に対する一切の責任を負いません。各種アクセサリ類は消耗品等に含まれますので、交換や修理は保証の対象外となります。

保証対象：

製造または材料の欠陥以外の理由で本機器が使用不能になったときには、保証の適用は終了します。

保証や修理を受けるときには：

本機器をご購入いただいた販売店にお持ちください。または、運賃前払いにて弊社修理センターに発送してください。また、修理内容にかかわらず返送時の運賃はお客様のご負担となります。

保証や修理方法：

保証や修理対象の製品は、弊社の選択により、修理または交換して返送いたします。保証対象外の製品については、有償にて修理をいたします。

保証の適用について：

弊社に代わって、販売店、代理店などが本保証を変更したり、別の保証を提供したりすることはありません。

※ 本書記載内容については、製品の仕様変更などにより、予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

© 2014年 Ridge Tool Company. 無断複写・複製・転載を禁じます。

この取扱説明書の情報が正確であることを保証するため、ありとあらゆる努力を重ねてきました。Ridge Tool Companyとその関係会社は、予告なしにこの取扱説明書に記載されているハードウェア、ソフトウェア、あるいはその両方の仕様を変更できる権利を保有しています。本製品に関する最新及び追加情報は下記のサイトでご覧になれます。

www.RIDGID.com 製品向上の結果、この取扱説明書にある写真、その他の(図などの)表示や説明と実際の製品に違いがあることがあります。

RIDGIDとRIDGIDロゴはアメリカ合衆国やその他の国で登録されているRidge Tool Companyの商標です。ここで言及されているその他全ての登録済み、未登録の商標やロゴに対する財産権はそれぞれの所有者が持っています。第3者の製品について言及している場合は、情報提供のみを目的としているもので、承認あるいは推奨しているものではありません。



EMERSON. CONSIDER IT SOLVED.™